

## 令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	音楽	種目	オーケストラ等
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	こうえきざいだんほうじんにほんせんちゅりーこうきょうがくだん		
	制作団体名	公益財団法人日本センチュリー交響楽団		
	代表者職・氏名	理事長 桜井 博志	団体ウェブサイトURL <a href="https://jcso.or.jp/">https://jcso.or.jp/</a>	
	制作団体所在地	〒 561-0873 大阪府豊中市服部緑地1-7	最寄駅(バス停)	阪急バス・寺内一丁目
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな			
	公演団体名			
	代表者職・氏名		団体ウェブサイトURL	
	公演団体所在地	〒	最寄駅(バス停)	
	制作団体 設立年月	1989年5月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		理事長:桜井 博志 理事長代行:梶原 健 他 理事、評議員、監事	楽団員 2管10型(定員55名) 事務局員 16名 加入条件 楽団員はオーディションにより採用	
	事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	澤木 仁美
	経理処理等の監査担当の有無	有	経理担当者	畔永 良平
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス <a href="mailto:sawakih@century-orchestra.jp">sawakih@century-orchestra.jp</a> <a href="mailto:mimuras@century-orchestra.jp">mimuras@century-orchestra.jp</a>	電話番号	0668483333

	<p><b>制作団体沿革・主な受賞歴</b></p> <p>1989年に発足し、大阪府豊中市を拠点に活動するオーケストラ。2025年4月より久石譲が音楽監督に就任、名誉ミュージックアドバイザーに秋山和慶を擁す。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、豊中市立文化芸術センターでの「豊中名曲シリーズ」と、大阪府下2拠点で定期的な演奏会を開催している。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、特別支援学校コンサート、ユースオーケストラの運営など次世代への教育プログラムも積極的に行うほか、「ファミリーコンサート」や「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等、地域連携事業にも力を入れている。飯森範親指揮によるハイドンの交響曲全曲演奏＆録音プロジェクトのライブ録音「ハイドン交響曲集Vol.1」(他複数)等がレコード芸術特選盤に選ばれ、また2度にわたり大阪府文化祭奨励賞を受賞する(2015年度、2018年度)など、その高水準な演奏は高い評価を得ている。「伝統と革新～未来をつなぐ音楽を～」をスローガンに掲げ、「音楽の力で人々に感動と希望を届ける」「地域社会の文化発展に寄与する」「次世代の音楽家を育成し、音楽文化の継承と革新に貢献する」「クラシック音楽の新たな可能性を追求し、常に進化し続ける」の4つの理念を軸に、久石譲音楽監督と共に、音楽を通じて地域と未来を結ぶ架け橋として進化し続けることを目指す。2024年12月に楽団創立35周年を迎えた。</p> <p>オフィシャル・ホームページ <a href="https://www.jcsor.jp">https://www.jcsor.jp</a></p>
<b>制作団体の実績</b>	<p><b>【自主事業「Touch The Orchestra】</b> 2003年度より、当団練習場であるセンチュリー・オーケストラハウスを会場とした体験型コンサートを開催しています。小学校高学年を対象に、楽器体験や指揮者体験、オーケストラの演奏エリア内の鑑賞など、観て・聴いて・触って体感するコンサートを実施し、これまで延べ4万名の児童生徒たちが参加しました。2025年度は大阪府民向けの公演も企画しており、計6公演の実施を予定しています。</p> <p><b>【豊中市との連携事業「ホールでオーケストラ♪】</b> 2018年度以降、豊中市との連携により豊中市立の中学校を対象とした合同鑑賞会を継続的に開催しております。2021年度より小学生を対象とした公演も開催しています。毎年10校以上の学校にご参加いただき、毎年5～6公演ほど実施しています。生徒たちの地元の音楽ホールで、地元のオーケストラに触れていただく機会を提供しています。</p> <p><b>【大阪市北区との連携事業】</b> 毎年夏の時期に、区内中学校の吹奏楽部・音楽部を対象とした演奏指導を行うと共に、「北区子供たちの夢づくり事業」として中学校や小学校の合同鑑賞会を開催しています。</p> <p>その他、府内学校の依頼によるオーケストラコンサートや室内楽コンサート、青少年向けコンサートを実施しており、2025年度は約20公演を予定しています。</p>
<b>特別支援学校等における公演実績</b>	<p>以下事業は、当団の社会貢献事業の一環として2004年度より継続して開催しています。参加費を徴収しない招待公演の形を取っており、プロ・オーケストラの生演奏に触れることができる機会として、児童生徒・教員・保護者の方々から大変ご好評をいただいております。</p> <p><b>【特別支援学校 オーケストラコンサート】</b> 府内特別支援学校の児童生徒を対象としたオーケストラコンサートを年1回開催し、毎年900～1,000人の児童生徒・教員の皆様にご参加いただいている。完全バリアフリーの会場(国際障害者交流センター ピッグ・アイ)を使用し、車椅子やベッドを使用する児童生徒たちも心置きなくコンサートを楽しめる環境づくりを心がけています。2019年度より、文化庁「障害者等による文化芸術活動推進事業」に7年連続で採択されています。</p> <p><b>【特別支援学校 アンサンブルコンサート】</b> 文化庁「障害者等による文化芸術活動推進事業」の採択内容の一部として、上記オーケストラコンサートへの来場が難しい学校や生徒を対象にアンサンブルコンサートを実施しています。毎年5校にお伺いし、各校の児童生徒のペースに合わせた内容をお届けしています。</p>

<b>参考資料</b>	申請する演目のWEB公開資料	有
	※公開資料有の場合URL	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=9FFWvZJUMoE">https://www.youtube.com/watch?v=9FFWvZJUMoE</a>
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID: 不要 PW: 不要

別添	あり					
【公演団体名 公益財団法人日本センチュリー交響楽団】						
対象	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	小学生(中学年)	<input type="radio"/>		
	小学生(高学年)	<input type="radio"/>	中学生	<input type="radio"/>		
企画名	日本センチュリー交響楽団の「オーケストラっておもしろい！」					
企画のねらい	小学校、中学校とそれぞれ別のプログラムで実施いたします。児童生徒たちの成長過程に見合った内容であること、どちらのプログラムも公演が進むにつれて自然と音楽鑑賞能力が高められるこことを意識して選曲しております。また、楽団が考える「生徒たちに届けたい曲」と、先生方が考える「生徒たちの実態に合った曲」をどちらも取り入れられるよう、一部の演目は学校による選択制の形を取っております。大部分の生徒たちにとって初体験となるであろうプロ・オーケストラによる生演奏、平易でありながら充実度の高い内容を目指しました。当公演を通じて子供たちの感性を働きかせ、音楽への理解や親しみを深めていただきたいと考えています。					
演目概要・演目選択理由	オーケストラを初めて目の前にする生徒たちにも親しみやすく、最後まで飽きずに楽しめる作品を選曲しております。プロの演奏家だからこそ魅力を存分に伝えられる芸術性に富んだ曲、クラシック音楽を中心に様々なジャンルの音楽に触れられる構成を意識し、メイン曲に向けて音楽やオーケストラへの理解度、鑑賞能力が無理なく高められる内容となっております。 また、これまでの実績をもとに1曲ごとの演奏時間や、解説を聞く時間、演奏に参加する時間の配分を綿密に検討し、最後まで子供たちの集中力が切れることのないよう公演全体のリズムを作ることも心がけております。					
児童・生徒の参加または体験の形態	小学校公演にて実施している「あなたも舞台に！」を、前年度は選択制うちの一つとしておりましたが、ぜひ多くの学校に体験していただきたく、前半のメインコーナーとして組み込んでいます。子供たちがオーケストラの演奏エリア内に入り、オーケストラを間近で体感していただける演目となっています(希望しない学校は通常の鑑賞となります)。生徒全員が参加できる演目としては、楽団オリジナルの手拍子協奏曲「Clip!Beat!Clap!2」や合唱共演をご用意しています。 また、より特別な体験内容としては指揮者体験、中学校は吹奏楽部との共演(ワークショップでの事前指導有り)を予定しております。例年取り入れている校歌楽譜、録音CD(オーケストラ版)のプレゼントも引き続き実施いたします。					
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人數目安	~1,000名(体育館のサイズ、共演演目による)			
		鑑賞人數目安	~1,000名(学校体育館のサイズによる)			
本公演・ワークショップの内容	小学校、中学校共に、学校に演奏曲や体験内容をご選択いただく部分を設けております。楽団作成のヒアリングシートにてご希望をお伺いし、全体のプログラムを確定いたします。また各プログラムに児童生徒参加型の内容も盛り込んでおります。 その他の演奏曲については、別添に記載いたします。					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<b>【小学校プログラム 選択内容・共演曲】</b> ・<あなたも舞台に！>約50名にオーケストラの演奏エリア内に入っていただき、音の迫力を体感していただきます。 ・<合唱共演>もしくは<通常の鑑賞>のどちらかを一部ご選択いただけます。合唱共演曲は3つの候補曲からお選びください。 ・楽団オリジナル作品の手拍子協奏曲「Clip!Beat!Clap!2」にてオーケストラと手拍子によるリズム打ちで共演していただけます。					
	<b>【中学校プログラム 選択内容・共演曲】</b> ・<指揮者体験コーナー>チャイコフスキーの作品を課題曲とし、代表者2名に指揮者の役割を体験していただけます。 ・<吹奏楽共演>もしくは<合唱共演>いずれかをご選択ください。吹奏楽は2つの候補曲、合唱は3つの候補曲があります。 ※その他、プログラム詳細は別添に記載しております。					
	公演時間	90	分			
出演者	指揮:中井 章徳 他調整中 管弦楽:日本センチュリー交響楽団(2管10型)					
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	岡山県倉敷市出身。音楽博士。くらしき作陽大学、同大学院音楽研究科、桐朋オーケストラ・アカデミーで指揮を学び、その後ドイツとイタリアで研鑽を積む。1998年、ポーランドのマスター・プレイヤーズ国際音楽コンクールで指揮部門最高位を受賞し、さらに全部門から大賞に選ばれる。2010年、ミラノ・ヴェルディホールにて歌劇《椿姫》を指揮し、イタリア・デビューを果たす。2024年、京都市立芸術大学大学院博士後期課程を修了。これまでに、札幌交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団など、全国各地の主要オーケストラと共演している。現在、出雲芸術アカデミーおよび出雲フィルハーモニー芸術監督、北九州シティオペラ客演指揮者、ヤマハ吹奏楽団常任指揮者を務める。					
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者: 59 名 スタッフ: 6 名 合 計: 65 名	運搬	積載量: 4 t 車 長: 8 m 台 数: 2 台			

本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込		無	前日仕込所要時間		時間程度		
	到着	仕込	上演	内休憩	撤去			
	9:00	9:00～12:00	13:30～15:00	15分	15:00～16:30	16:30		
※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。								
本公演 実施可能日数 目安	6月		7月	8月		9月		
	0日		0日	0日		3日		
	10月		11月	12月		1月		
	10日		3日	10日				
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計	26日			
本公演・ ワークショップの 内容				<b>会場全体の様子（2024年9月公演の様子）</b> 体育館ステージ上、体育館ステージ下から縦9m、横幅すべての範囲を使用してオーケストラをセッティングします。 演奏エリアのサイドには黒屏風を設置し、舞台袖を作ります。 コンサートホールに近い環境を作る役割の他、楽器ケース等の備品が子供たちの集中力を削がないよう、目隠しとしての役割も担っています。				
				<b>公演の様子①（2025年1月公演の様子）</b> 体育館ステージ上、体育館ステージ下から縦9m、横幅すべての範囲を使用してオーケストラをセッティングします。 演奏エリアのサイドには黒屏風を設置し、舞台袖を作ります。 コンサートホールに近い環境を作る役割の他、楽器ケース等の備品が子供たちの集中力を削がないよう、目隠しとしての役割も担っています。				
				<b>公演の様子②（小学校公演 / 2025年1月公演の様子）</b> 手拍子協奏曲「Clip!Beat!Clap!2」の様子。 打楽器奏者が手拍子のナビゲーター役として、子供たちに様々なリズムをレクチャーします。オーケストラとの橋渡しをしながら演奏家を身近に感じてもらいながら、公演を更に楽しく盛り上げます。最後に1曲通して共演しますが、会場全体が一体となって演奏する瞬間は特別な機会となることでしょう。				
				<b>公演の様子③（小学校公演 / 2025年1月公演の様子）</b> 「あなたも舞台に！」の様子。 生徒50名を上限に、オーケストラの中に入って間近で演奏を聴いていただきます。客席で聴くときとの響きの違いや、演奏者の表情や演奏技術を目の前で観察し、新しい視点からオーケストラの魅力を発見していただけます。				
	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否		該当なし	該当コンテンツ名				
著作権、上演権等の許諾状況	該当事項がある場合	権利者名		許諾確認状況				

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 公益財団法人日本センチュリー交響楽団】

ワークショップの内容	ワークショップのねらい	<p>演奏会という非日常的な空間に慣れ親しみ、気負うことなくオーケストラを楽しんでいただくことを目指して、ワークショップを実施いたします。演奏者から児童生徒たちへ歩み寄る姿勢を示し、演奏者と聴衆の相互作用によって楽しい演奏会が作られていくことを体感していただきたいと考えています。メンバーとの交流を通して、本公演を積極的に楽しむ姿勢を作り、オーケストラやクラシック音楽を身近なものとして捉えてもらうことを目標としています。</p> <p>また、リズムアンサンブルや共演曲の演奏指導など、他者と協力しながら演奏会に参加する場面を作ることで、児童生徒たち同士の仲間意識を深め、コミュニケーション能力の育成や、共生社会への参画意識向上に繋がっていくことを期待しています。</p>		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人數目安	~1,000名(実施会場のサイズによる)
	ワークショップ実施形態及び内容	<p>楽団員4名による90分プログラム(途中休憩あり)を基本としています。本公演にも出演するメンバーが演奏・司会進行・指導を行います。授業時間の都合等がある場合は、学校の希望に応じて60分や45分の公演時間にアレンジすることも可能です。</p> <p><b>【基本プログラム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●オーケストラを構成する楽器の解説、楽器紹介 写真やイラストを参考しながら、オーケストラの規模感や楽器の種類についてイメージを掴みます。ワークショップに来ている4つの楽器の音色を聴いたり、それ以外のオーケストラの楽器について、構造やオーケストラでの役割について、丁寧に解説します。</li> <li>●音楽の歴史、音楽を構成する要素、有名なクラシック作曲家について 音楽にはクラシック以外にも様々なジャンルがありますが、現代までどのような発展を遂げてきたか、歴史を辿っていきます。また、音楽の三要素であるリズム・メロディ・ハーモニーが持つ役割を学び、実演を交えながら、音楽の仕組みについて多面的に聴き取ることができるような実験を行います。</li> <li>●コンサートの楽しみ方について 拍手を送るタイミングや長さ、「ブラボー！」の掛け声など聴衆の表現方法を学びながら、演奏者とのコミュニケーションの取り方を学びます。</li> <li>●合唱共演の練習 合唱共演を希望する学校では、本公演で歌唱する曲の練習を行います。音楽教員の方にピアノ伴奏をお願いしております。本公演でオーケストラと共に演する際のポイント、音楽のアプローチなどを指導します。</li> <li>●指揮者体験コーナー 指揮者の役割について学びながら、代表生徒2名に指揮を振っていただきます。ワークショップ講師のメンバーが指揮レクチャーと演奏を行います。</li> <li>●ボイス・アンサンブル「やさいのきもち」 野菜の名前を使ったリズムアンサンブルを通して、お互いの音を聴き合い音楽を作り上げる体験をしていただきます。個々の役割を持ちながら、他者と協働して一つの大きな成果を生み出す楽しさを実感していただける内容となっています。</li> </ul> <p><b>【中学校プログラム】</b></p> <p>上記基本プログラムの他、中学校では吹奏楽共演の事前練習、事前指導を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●吹奏楽共演の練習およびミニコンサート 吹奏楽共演を希望する学校では、楽団員の指導により、共演曲のセクション練習と合奏練習を行います。指導時間の後は、楽団員によるミニコンサートもお楽しみいただけます。プロの演奏家との交流を通して、音楽を豊かに表現する技術や、それらを実現するためのコミュニケーション能力の向上を促します。</li> </ul>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出演メンバーは、自己紹介の際にそれぞれの愛称を子供たちに伝えます。児童生徒たちから愛称で呼んでもらうことにより、ステージと客席の垣根を超えた交流が生まれることを期待しています。</li> <li>●公演時間・体験内容については、各校の実態に合わせた構成でご提案することも可能です。例えば支援学校での実施については、ボディ・パーカッションによるセッションや、動物クイズ(演奏している曲がどの動物の声や様子を真似しているかを当てる)等の内容を盛り込み、個々の表現や考えをのびのびと体现する時間を増やす工夫もさせていただきます。</li> <li>●児童生徒の参加人数、設備環境(冷暖房の有無など)に応じて、体育館だけでなく、音楽室や多目的室での実施も可能です。</li> </ul>			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

## 一般区分・特別エリア区分共通

No.4(共通)

別添

なし

【公演団体名 公益財団法人日本センチュリー交響楽団】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

(必須)

公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。

	会場の設置階の制限	2F以上応相談	主幹引き込み電源容量	不要	A以上		
会場条件	舞台設置面積	間口 高さ	18 m なし m	奥行	9 m		
	舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応	条件が合えば可		
	搬入間口の広さ	幅	1.8 m	高さ	2 m		
	遮光の要否	不要	縦帳の要否	不要			
	ピアノの使用について	使用しない	ピアノを使用する場合の設置位置の指定				
			ピアノを使用しない場合の移動の要否				
	搬入車両(トラック等)の横づけ	必須	トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離	10 m以内			
	搬入車両の種類	大型トラック	台数 1~2	台			
	搬入車両の大きさ	車幅	2.1 m	車長	6.2 m		
	備考						

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

(任意)

学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。

学校からの情報	会場図面の提出要否	要
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	可能であれば、搬入間口・搬入経路の写真をいただきたいです。

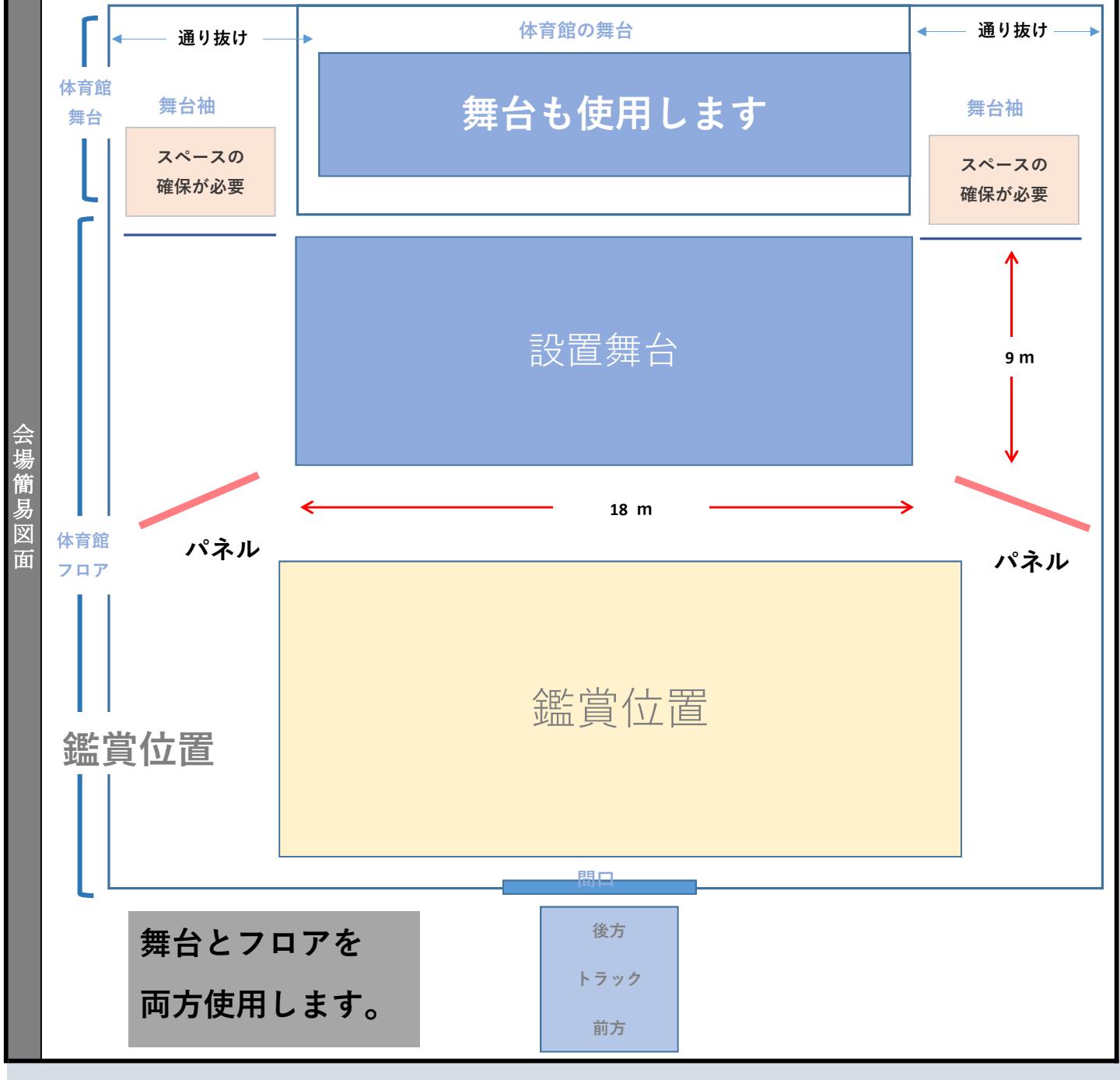
時間外対応	(任意) 万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。				
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。				
	対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ				
ワークショップ					
本公演					
本公演					

個別確認事項	(任意) 上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
	個別ヒアリング事項	
	1	本公演について、出演者控室(4室)の確保をお願いいたします。
	2	大型バス3台の校内乗り入れ・留め置きの可否をご教示ください。
3	搬入トラックの校内留め置きの可否をご教示ください。	

(任意)

会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。



別添

あり

【公演団体名 公益財団法人日本センチュリー交響楽団】

**本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫****【本事業を通じて実現したいこと】**

プロ・オーケストラによる本格的な演奏を通じて、クラシック音楽を中心とした音楽鑑賞や音楽活動の楽しさを体験していただき、文化芸術への理解や関心を高めることを目標としております。初めてのオーケストラ体験を無理なく楽しんでいただけるよう、子供たちにとって馴染みのある体育館で音楽活動に参加する機会を作ることにより、文化芸術を身近に感じていただけることを期待しています。

公演内容としましては、親しみやすいメロディの作品、聴き飽きない演奏時間を意識しながら、オーケストラとの共演や楽しく分かりやすい解説など、様々な側面からオーケストラを捉えていただきます。また、当団の基本編成の魅力が充分に生かされる作品を取り揃え、上質なオーケストラサウンドを体感していただけるプログラムを検討しております。

将来を担う子供たちの感性を育む場を作り、日常生活を共にしている仲間と音楽を共有することを通してコミュニケーション能力の向上にも繋げていきたいです。また当団の巡回をきっかけに、今後の人生における楽しみとして、音楽を選択肢の一つとして捉えていただきたいと考えております。

**【上記の実現に向けて、実施の工夫】**

各項目の詳細は、別添に記載いたします。

- 楽団員と事務局員の代表者で構成される「選曲委員会」を設置し、演奏家とスタッフの垣根を超えて、教育効果が高く、親しみやすい企画内容を検討します。
- ワークショップと本公司の関連性を重視し、本公司での教育的効果を高める工夫を施しています。
- オーケストラの魅力や可能性、音楽の楽しさを伝えるため、楽団オリジナルの演目と音楽体験を盛り込み、当事業に取り組みます。
- 児童生徒たちが自発的に活動できる場面を取り入れ、最後まで楽しんでもらえる進行管理を意識して進めています。

**【学校との連絡調整について】**

実施日が確定した時点で、実施校の先生方に直接お電話させていただき、今後の準備手順やスケジュール感などの概要をお伝えします。同時に、各校の不安点や質問もお伺いし、一緒に解決策を探っていく協力体制を早期に作り上げることを心がけています。

ファーストコンタクトを取らせていただいた後は、楽団作成の実施マニュアルをお送りいたします。楽団の経歴、実施予定プログラム、準備手順の他、学校が懸念する可能性の高い内容も予め予測しながらマニュアルを作成いたします。また、打合せに向けてのヒアリングシートも同時にお送りし、調整事項を洗い出します。双方に同じ資料が手元にある状態を作り、打合せをスムーズに進めていくように努めています。

**【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】****事業を適切かつ円滑に実施するための工夫**

他生徒と同じ空間で鑑賞することが困難な生徒は別室でのリモート鑑賞をしていただいたり（機材や設備は学校備品を使用）、大きな音が苦手な生徒が参加している場合は音量が大きくなる曲やタイミングを事前にお伝えするなど、無理なく楽しんでいただける環境を先生方と検討させていただいている。聴覚障がいのある生徒に向けて手話通訳をされる学校には、進行台本をお送りし、事前に先生方に司会内容をご確認いただき、準備を進めてまいります。また、指揮者体験コーナーに参加していただく代表生徒の選出基準は設けていないこともお伝えしています。音楽経験者であること、音楽が好きな子供であることなどの制限は無く、どの生徒たちにも門を開いていることを伝えています。

**【本公司等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】**

コロナ禍以降、当団は公式Youtubeチャンネルにて演奏動画や公演告知動画を定期的に更新しています。日頃は関西圏を中心に音楽活動をしているため、巡回先の子供たちが頻繁に演奏会へ足を運ぶことは難しいと思いますが、終演時にYoutubeチャンネルの案内をすることにより、公演後も当団の演奏と楽団員たちの様子を楽しんでいただけます。また、当団チャンネルに紐づく形で多くの一流アーティスト達の演奏に触れる機会も得られます。Youtubeを足がかりに上質な音楽に出会い、演奏会に出かけたり、楽器を始めるなどのきっかけを作りたいと考えています。

**本事業への応募理由等**

一般区分・特別エリア区分共通

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

No.2

【公演団体名 公益財団法人日本センチュリー交響楽団】

本公演演目	<p>小学校プログラム、中学校プログラムの詳細は以下のとおりです。 No.2「本公演演目」に記載のとおり、各校に一部プログラムをご選択いただきます。鑑賞、解説、共演、体験をバランスよく盛り込み、最後まで飽きずに楽しんでいただけるよう流れに緩急を付けながら進行していきます。 またどちらのプログラムにも、楽団オリジナルの演目・体験を取り入れております。以下、★印が付けられているものが該当曲です。日本センチュリー交響楽団だからこそお届けできる演目で、楽団の個性や魅力を体感していただきたいと考えております。</p> <p><b>【小学校プログラム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●ビゼー:歌劇「カルメン」より第一幕への前奏曲</li><li>●&lt;楽器紹介コーナー&gt;</li><li>●チャイコフスキー:バレエ組曲「白鳥の湖」より情景</li><li>●&lt;あなたも舞台に！&gt; <b>※50名程度、オーケストラエリア内で鑑賞（学校希望による）★</b></li><li>●シュトラウスⅡ世:トリッチ・トラッチ・ポルカ</li><li>●【選択曲】<ul style="list-style-type: none"><li>①通常の鑑賞 ドビュッシー:小組曲 行列</li><li>②合唱共演 《ビリーブ／花は咲く／ふるさと》</li></ul></li><li>●三村総撤編:手拍子協奏曲「Clip Beat Clap!2」★</li><li>●ビゼー:歌劇「カルメン」より間奏曲</li><li>●チャイコフスキー:バレエ組曲「くるみ割り人形」より花のワルツ (Enc.)各校校歌</li></ul> <p><b>【中学校プログラム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●ビゼー:歌劇「カルメン」より第一幕への前奏曲</li><li>●&lt;楽器紹介コーナー&gt;</li><li>●チャイコフスキー:バレエ組曲「くるみ割り人形」よりトレパック</li><li>●&lt;指揮者体験コーナー&gt;チャイコフスキー:バレエ組曲「くるみ割り人形」よりトレパック</li><li>●【選択曲】<ul style="list-style-type: none"><li>①吹奏楽共演 《ヴァンデルロースト:アルセナール／真島敏夫編:宝島》</li><li>②合唱共演 《翼をください／花は咲く／ふるさと》</li></ul></li><li>●徳山美奈子:大阪素描より 祭 ★</li><li>●ドビュッシー:小組曲 小舟</li><li>●スッペ:喜歌劇「軽騎兵」序曲 (Enc.)各校校歌</li></ul>
-------	--

一般区分・特別エリア区分共通

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

No.5

【公演団体名 公益財団法人日本センチュリー交響楽団】

本事業を通じて実現したこと、また当該工夫	<p>●<b>楽団員と事務局員の代表者で構成される「選曲委員会」を設置し、演奏家とスタッフの垣根を超えて、教育効果が高く、親しみやすい企画内容を検討します。</b></p> <p>当事業の実施に向けて、当団では毎年「選曲委員会」による選曲会議が行われます。楽団所属の演奏家とスタッフの代表者が集まり、児童生徒たちにとってより良いコンサートを作るために意見を持ち寄ります。演奏家たちは弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器の各セクションから代表者を選出し、会議に参加します。それぞれのセクションの魅力が引き出せる演目、日本センチュリー交響楽団が得意とする音楽作りを念頭に置きながら、「子供たちにとっての特別なコンサート」、「次代を担う子供たちに音楽を通して何を伝えるべきか」という共通の目標、目的を持って会議に臨みます。楽団員たちが、子供たちのためのコンサートが重要な位置づけであることを認識しており、日頃、各々が指導している学生たちと接する中で感じていることを持ち寄り、昨年度までの公演を踏まえてどのようなプラスアップが出来るか、丁寧に時間をかけて検討しています。</p> <p>●<b>オーケストラの魅力、音楽の楽しさを伝えるため、楽団オリジナルの演目と音楽体験を盛り込み、当事業に取り組みます。</b></p> <p>当団でのみ演奏されているオリジナルの作品を体験していただくことで、より特別感のあるコンサートを演出いたします。小学校公演で取り入れているオリジナル演目は、「手拍子協奏曲 Clip! Beat! Clap! 2」と、「あなたも舞台に！」です。</p> <p>「手拍子協奏曲 Clip! Beat! Clap! 2」は、参加者全員を対象とした聴衆参加型コーナーとなっております。クラシック音楽からPOPS、日本民謡まで、多様なジャンルのリズムパターンを手拍子で表現し、メドレー形式で演奏していきます。楽団の打楽器奏者がナビゲーター役として出演し、子供たちと楽しくリズムを学びます。各リズムを練習したあと、オーケストラの演奏と合わせて手拍子で参加していただきます。世界各地の音楽に触れながら、オーケストラの一員として演奏に加わり、会場全体で一つの音楽を創り上げる、アンサンブルの楽しさを体験していただくことが目的です。ワークショップでもボイス・アンサンブル「やさいのきもち」を行いますが、ワークショップの拡大版という位置づけにもなっています。</p> <p>「あなたも舞台に！」は、オーケストラの演奏エリア内に子供たちが入り、楽団員が演奏する姿や演奏テクニック、客席で鑑賞するときとの音の迫力・響きの違いを体験していただきます。オーケストラの楽器全てが活躍し、華やかな音色を奏でる「J.シュトラウスⅡ世:トリッチ・トラッチ・ポルカ」を間近でお聴きいただきます。</p> <p>中学校公演では、徳山美奈子氏の『大阪素描』より、終曲の「祭」を採り上げます。当団が1997年に委嘱し、初演した作品です。楽団拠点である大阪の伝統的な祭りの風景や響き、町の空気や人の様子が音で描かれています。締め太鼓やチャンチキといった和楽器がオーケストラ作品で使われている様子は印象的であり、オーケストラの楽器(西洋の楽器)が日本音楽の響きを作り上げる面白さも体験していましただけです。前半までの演目とは全く違った装いの作風に、オーケストラの表現力の幅広さや可能性を感じていただきたいと考えています。また、子供たちが郷土の文化や音楽について考えるきっかけとなることを願って演奏いたします。</p> <p>●<b>ワークショップと本公演の関連性を重視し、本公演での教育的効果を高める工夫を施しています。</b></p> <p>事前ワークショップでは、本公演との関連性を意識しながら、コンサートを積極的に楽しんでもらうためのポイントを押さえながら、内容構成していきます。当事業で初めてフルオーケストラを目の当たりにする子供たちにとっては、口頭で説明するだけではイメージが湧かず、なかなか期待感を持つことが出来ません。当団のワークショップでは写真やイラストを活用しながら、フルオーケストラが体育館に並んだときの景色や、演奏の迫力を具体的に伝え、特別感や期待感が高まるような工夫を施します。</p> <p>またオーケストラは、ただ楽譜上の音を楽器でなぞっているだけではなく、演奏者同士の音楽上のコミュニケーションやテクニックを駆使して演奏していることを伝えるため、指揮者体験やボイスアンサンブルでのメンバーとの共演を通して、大人数での合奏(アンサンブル)の楽しさを体験していただきます。</p> <p>本公演では、進行役を担う指揮者によるワークショップでの様子、子供たちの反応を事前共有し、ワークショップとの関連性や振り返りの要素を取り入れながら公演を進行していきます。また、ワークショップでは少人数ならではの密な交流を図った楽団員たちが、オーケストラという集団の中で活動している姿を見ていただくことで、子供達自身が学校生活や私生活において協調性や個性のバランスや重要性を考えるきっかけが作られていくことも期待しています。</p>
----------------------	---

一般区分・特別エリア区分共通

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

No.5

【公演団体名 公益財団法人日本センチュリー交響楽団】

●児童生徒たちが自発的に活動できる場面を取り入れ、最後まで楽しんでもらえる進行管理を意識して進めていきます。

児童生徒たちにとって、90分の公演を鑑賞することはハードルが高いことであると考えます。しかし、充実度の高い内容を盛り込むためには適切な時間でもあるため、公演全体の流れにメリハリをつけながらプログラミングし、最後まで飽きずに楽しんでいただける内容を考えております。児童生徒たちが自発的に活動できる共演コーナー等を取り入れることで、演奏会場に新しい流れを作つて意識をお越し、全員で特別な空間を創り上げることの楽しさ・充実感を体験していただきたいと考えています。音楽への興味関心や学年差に左右されず、自然な形で演奏会を楽しんでいただけるように工夫いたします。

また、児童生徒たちがオーケストラコンサートに対する親しみを持っていただくために、司会進行は出演者の声でお届けいたします。ワークショップでは講師4名、本公演では指揮者が司会役を担います。通常のオーケストラコンサートでは、出演者の生の声を聞く機会は限られていますが、ステージ上の演奏者が言葉を投げかけることで人となりが見え、客席との距離感を縮めることができますと考えております。また、出演者が作品の聴きどころや楽しみ方を直接伝えることで、説得力のある言葉として届けることが出来ます。

小学校プログラムにおいては、「Clip!Beat!Clap!2」にて打楽器奏者が手拍子のナビゲーターを努め、中学校公演においては吹奏楽共演後に事前指導に携わったメンバーがマイクを持ち、感想や今後の活動を応援する言葉などを投げかけます。休憩時間中も、子供たちと演奏者が感想を伝えあったり、音楽や楽器のことを質問したり、学校生活に関する話をしている場面も見かけます。このような投げかけや交流が生まれると、会場全体の空気も自然と動きが出始め、より良いコンサートを作り上げることが出来ます。児童生徒たちに「出演者の生の声で届ける」ことは非常に重要な要素であると考え、大切に、丁寧に言葉を選びながら進行台本などを作成しております。

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫